

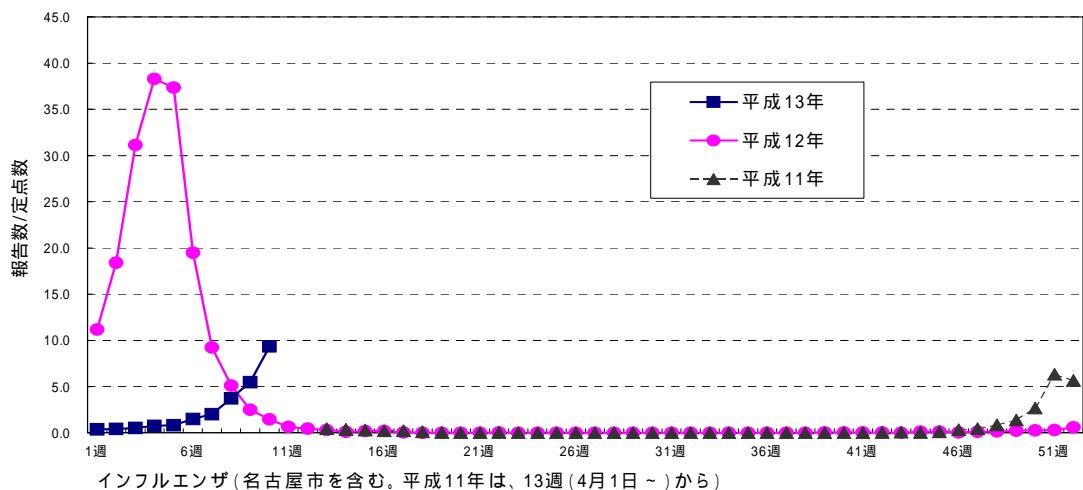
愛知県感染症情報

平成 13 年第 10 週 (3 月第 1 週)

(コメント)

インフルエンザは、流行中で急激に増加していますので注意してください。インフルエンザについての詳しい説明については、愛知県衛生研究所のホームページ (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>) をご覧ください。

咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎、水痘は、報告数の多い状況が続いています。



(先生方からのコメント)

● 尾張西部地区

- ・ ムンプス 予防接種歴あり (10 歳男、 3 歳女)

再び感染性胃腸炎流行 全年令を通じて

(一宮市 後藤小児科)

- ・ 病原性大腸菌陽性者 O-1 (1 歳男、 2 歳男 2 名、 5 歳女、 7 歳女) O-15 11 ヶ月女、 O-126 7 歳女

(尾西市 城後小児科)

- ・ インフルエンザ多く見られる。FluA^{*1}(+)、ほとんどアマンタジン^{*2}に反応する。しかし2日後に再び発熱(1日)する例もいくつかある。

(岩倉市 なかよしこどもクリニック)

注) FluA^{*1}: A型インフルエンザウイルスを検出する迅速診断キットの一種。

アマンタジン^{*2}: A型インフルエンザ治療薬

- ・ 感染性胃腸炎の流行が続いています。インフルエンザ感染症も認

められていますが、大きな流行にはいたっておりません。

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

- ・ インフル A クイック * 陽性 4 名。伝染性紅斑 6 歳男。麻疹も散発
(新川町 三輪医院)

注) A クイック * : A 型インフルエンザウイルスを検出する迅速診断キットの一種

● 尾張東部地区

- ・ 感染性胃腸炎の乳児は、ロタ陽性です。A 型インフルエンザは、25 名ですが、流行という感じはありません。7 歳男で OIA* (-) でしたが、筋炎をおこし B 型インフルエンザを疑わせました。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)

注) OIA* : A・B 型インフルエンザウイルスを同時に検出する迅速診断キットの一種。ただし A・B 型の区別はできない。

- ・ 今週に入ってから A 型インフルエンザ増加 (幼児、学童に増加傾向あり)。ほぼ全例でアマンタジン有効のようです。溶連菌感染症も増加しています (家族内発症あり。子供 母親 祖母)。マイコプラズマ感染症も目立ちます。

ヘルペス歯肉口内炎 1 歳女児は、母親よりの感染。

(尾張旭市 佐伯小児科医院)

- ・ 中学生 ~ 成人のインフルエンザが増加しています。

(南知多町 医療法人大岩医院)

- ・ 仮性クループが多くみられます。インフルエンザは減少してきました。マイコプラズマ肺炎は少なく、インフルエンザ菌 (+) とか肺炎球菌 (+) の急性肺炎が増加しています。水痘もみられました。

(春日井市 かちがわ北病院)

- ・ インフルエンザがやや流行しています。

(小牧市 志水こどもクリニック)

- ・ インフルエンザ小流行 (A も B もいる)

(小牧市 小牧市民病院)

● 西三河地区

- ・ ディレクティジェン Fl u A 陽性 (1 歳男、1 歳女、3 歳女 2 名、4 歳女 6 名、4 歳男、5 歳女、6 歳女)

病原性大腸菌 0-8 1 歳女

インフルエンザ 33 歳女性 (こどもが Fl u A (+))

病原性大腸菌 0-18 4 歳女

(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)

- ・ インフル A (14 歳男、5 歳女)。小学高学年から中学生にかけて高熱が 4、5 日続くウイルス疾患あり。

- （豊田市 やふそ小児科）
- ・ 11ヶ月女児 ロタウイルス
（岡崎市 深田小児科）
- ・ 2歳咽頭結膜熱はアデノウイルス（+）
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ 7歳男サルモネラ O-8
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ インフルエンザは、全てFluA（+）
（岡崎市 川島小児科水野医院）
- ・ 高熱の患者多いが、インフルエンザ抗原陽性例なし
（岡崎市 志貴こどもクリニック）
- ・ FluA（+）7例、O1A（+）・FluA（-）1例
陽性患者からの2次感染6例
（岡崎市 粟屋医院）
- ・ FluA（+）7名（8ヶ月、1歳、2歳、4歳、5歳、6歳2名）
（刈谷市 田和小児科医院）
- ・ 嘔吐下痢が多い。Flu A陽性1名。
（西尾市 やすい小児科）
- 東三河地区
 - ・ 3月に入ってFluA（+）のインフルエンザ患者増加してきています。
水痘も相変わらず多くみられている。
（豊橋市 あずまだこどもクリニック）
 - ・ 保育園で咽頭結膜熱流行中。インフルエンザ様発熱の児が増えました。インフルエンザFluA 4人陽性
（豊橋市 こどもの国大谷小児科）
 - ・ インフルエンザ様疾患が、今週に入り、更に増加。
（田原町 かわせ小児科）

（1～3類感染症の発生状況）

- 細菌性赤痢患者3名。
- ・ 安城保健所から報告の22歳男。2/19発病、3/8初診、3/11診定。
菌型は、ゾンネ 相。インド渡航歴あり。
 - ・ 知多保健所から報告の21歳女。2/23発病、3/6初診、3/6診定。
菌型は、ゾンネ 相。タイ渡航歴あり。
 - ・ 岡崎保健所から報告の30歳男。3/7発病、3/8初診、3/11診定。
菌型は、フレキシネル 2b。

腸管出血性大腸菌感染症患者1名。

- ・ 江南保健所から報告の 21 歳男。2/19 発病、2/22 初診、3/5 診定。
菌型は、0-157 VT2 (+)

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

報告はありません。

第 8 週 (平成 13 年 2 月 19 日 ~ 2 月 25 日) の 4 類感染症の全国状況
感染性胃腸炎の定点当たり報告数が例年にくらべかなり多くなっており、宮崎県で定点当たり報告数 24 、鳥取県で 21 、宮城県 20 となっている。インフルエンザは全国平均の定点当たり報告数が 5.4 と、前週のおよそ 2 倍になっている。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎、水痘も過去 5 年の同時期と比較してかなり定点当たり報告数が多くなっている。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は栃木県、新潟県、鳥取県で定点当たり報告数が 5 を超えている。流行性耳下腺炎は福井県で定点当たり報告数 7.1 、熊本県で 5.0 と多くなっている。水痘は宮崎県で定点当たり報告数 9.0 、沖縄県で 5.8 、愛媛県で 5.0 と報告が多くなっている。麻疹は例年の同時期とくらべ定点当たり報告数がやや多く、高知県で 4.0 、大分県で 2.8 となっている。咽頭結膜熱、手足口病は冬季としては例年になく定点当たり報告数が多くなっている

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)

2001年2月9日号(76巻6号)愛知県衛生研究所企画情報部(文責 磯村)

ウガンダのエボラ出血熱(EHF):2000年8月-2001年1月のまとめ。
ウガンダにおける集団発生が同国厚生省に報告されたのが00年10月。01年1月には流行が終息した状況であり、本年1月までの発生状況をここでまとめた。

流行状況の疫学調査・発生状況調査:発生報告後直ちにWHOの指導の元に流行地区の特定と伝播状況の調査網を地域医療機関・地域保健施設単位で確立。急性疾患患者は地区医療機関に受診すること、死亡例に関しては遺体の取扱いについて研修を受けた専門家が指導・教育すること、急性出血熱と思われる例の家族や接触者は接触後21日間監視すること、血液など患者材料は南アフリカ国立研究所と米合衆国疾病対策センター(CDC)でウイルス学的検査を実施(EHFのス-ダン型ウイルスの類似株が発見された)。実際の発生把握には各医療機関、地区センター、巡回チームによる確認(確定例=出血を伴う突発的高熱と突然死、疑似例=発熱、EHF患者と接触、原因不明の出血、頭痛、嘔吐下痢、腹痛、全身倦怠、関節痛、嚔下困難、呼吸困難など)実施。ウイルス学的検索(PCR陽性例と抗体陽性例)から真正EHFと疑似EHFに分類された。発見された例は隔離病棟入院、死亡例数は毎日中央に報告された。

臨床的所見:62例のウイルス陽性例の症状は下痢(66%)、頭痛(63%)、悪心嘔吐(60%)などで出血傾向は20%(主として消化管出血)であった。入院例の死亡率は58%、15歳未満の例では80%、死亡例では急速なショックと出血、意識障害が認められ、妊婦では自然流産が多かった。

疫学的所見:01年1月23日時点で総数425例。00年10月に集中。3地区に限定されていて同国東北部のグル地区93%、マシディ地区6%、ムバララ地区1%であり、罹患者の死亡53%、63%が女性、患者平均年齢は27歳で20%が13歳未満、罹患者に目立ったのは隔離・教育の不十分な発生初期の散発例に関連した例で、葬儀の際の接触者、家族内接触者、院内感染であった。

まとめ:的確な情報収集網確立と住民教育を含む地区対策により今回の発生は限定された地区でほぼ終息し、広域な伝播は発生しなかった。媒介動物などいまだに不明確であるが、今後もこうした国際協力による調査と対策立案の努力が重要と思われる。

インフルエンザ:01年1月。ベルギー、中国、チェコ、デンマーク、フィンランド、ドイツ、アイスランド、スロヴァキア。いずれもA型(H1N1)。

2月2-8日届出疾患:コレラ。南アフリカ、シンガポール。

2001年2月16日号(76巻7号)

コレラ:南アフリカ。昨年8月中旬から発生、本年2月4日時点で南海岸低地を中心に37,204例(死亡例85例)。罹患者死亡率は0.4%未満と低いが広域発生であり当局は安全な水供給と環境衛生対策を3年計画で発足した。

世界のインフルエンザ:99年10月-2000年9月。1年間のインフルエンザ流行株の各国における分離状況。北半球では冬期、南半球では夏期。今回の流行期では最初A型(H3)とB型の混合であったが最近は世界的にA型(H1)となっている。

サウジアラビア入国に必要な予防接種:同国政府による発表。黄熱常在地からの入国者は黄熱ワクチンが必須。髄膜炎菌ワクチン:メッカ巡礼の季節。例年サハラ砂漠南縁諸国(髄膜炎菌ベルト)からの輸入例あり、入国者にはワクチン接種が義務づけられている。成人と2歳以上の小児はA/C型ワクチンを1回、3ヵ月-2歳の小児はA型ワクチンを3ヵ月間隔で2回。

インフルエンザ:01年2月。オーストリア、ベラルーシ、クロアチア、フィンランド、ギリシャ、アイルランド、日本、ラトビア、ルーマニア、ロシア、スウェーデンいずれもA型(H1N1)。

2月9-15日届出疾患:コレラ。南アフリカ、日本(輸入例)、オランダ(輸入例)

3月も半ばになりましたが冷込みがきつくて雪がちらつく日があったりして不安定な天候が続いています。お元気でしょうか。いつも貴重な情報を有難うございます。2月後半のまとめをお送りします。

1. 名古屋市内：インフルエンザの発生が小規模ですが各地区で見られるようになりました。ベッドサイドの迅速テストキットでA型陽性、陽性材料から衛生研究所でウイルスが分離されています。2月上旬は少数例のA型（H3N2）でしたが、2月中旬以降はA型（H1N1）主体で一部B型陽性です。発生状況は地域的小流行や家族内発生、保育所や小中学校の小規模発生で特に重症な合併症多発の報告もいただいています。全体に軽症です。迅速診断キットの普及と、有効な抗インフルエンザウイルス薬剤の使用でインフルエンザの臨床も変化の兆しをみせていますが、今後の流行状況の監視とウイルス学的検索は重要と思われます（第一日赤有吉先生、国立病院伊藤先生、第二日赤岩佐先生、千種区今枝先生；3例散発、2例に抗インフルエンザ薬剤使用し著効、熱型表を送っていただきました、三菱病院岩間先生、労災病院山田先生；二次感染で入院例あり、大同病院水野先生；ワクチン無効例あり、軽症で感染力は弱く、家族内でも感染しない場合があった）。ロタウイルスを中心とした感染性胃腸炎が相変わらず発生中で脱水から入院を要する例が目立つ地区と峠をこえた地区がありますが、地区によってはロタウイルス陰性者が多いという報告もいただいています（第一日赤有吉先生、国立・伊藤先生、第二日赤岩佐先生、千種区今枝先生、三菱・岩間先生、労災・山田先生、大同・水野先生）。溶連菌感染症、扁桃腺炎、細気管支炎による入院などの報告や病原性大腸菌による感染性腸炎の入院例の報告もいただきました（第一日赤有吉先生、三菱・岩間先生、労災・山田先生）。マイコプラズマ感染による肺炎・気管支炎も相変わらず発生中で（労災・山田先生、三菱・岩間先生）、岩間先生からは胸膜炎と肝障害を合併した例あり、とのお手紙でした。第一日赤有吉先生、第二日赤岩佐先生からは麻疹散発中、千種区今枝先生からはDPT未接種2歳児の百日咳1例、との報告です。今後の流行に注意したく思います。

2. 尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎、溶連菌感染症、水痘が多発中でインフルエンザは散発中、津島市民病院長田先生からはロタウイルス腸炎と溶連菌感染症が目立つ、昭和病院西村先生からはインフルエンザとロタウイルス腸炎が発生中で咽頭結膜熱の入院例目立つ、岩倉市永吉先生からはインフルエンザ流行中でA型が中心、学級閉鎖あり5歳以下ではワクチン接種例もA（+）。アマンタジン著効。ムンプスが流行中で幼稚園単位で発生中。常滑市民病院上田先生からは溶連菌感染症、水痘、ムンプス（髄膜炎合併例あり）、インフルエンザ、アデノによる流行性結膜炎、RSウイルスによる細気管支炎、ロタウイルス胃腸炎（要入院例あり）が発生中とのお手紙でした。

3. 三河地区：岡崎市民病院系洲先生からはロタウイルスを中心とした感染性胃腸炎あり川崎病数人、知立市近藤先生からはインフルエンザAが発生、中学生で小流行あり、インフル陰性の高熱性感冒多発、嘔吐性感冒やや減少、細菌性下痢（キャンピロ）、保育園児の麻疹1例、刈谷市田和先生からは感染性胃腸炎がやや目立ち、インフルエンザ様疾患はあるがA陰性、碧南市永井先生からはロタ陽性例を含む乳幼児の嘔吐下痢が目立ちインフルエンザ散発、豊橋市宮澤先生からはアデノウイルス感染、嘔吐下痢症、水痘が目立つとのお手紙でした。有難うございました。